

相模原水素ステーションを核とした水素エネルギー有効利用調査を開始 NEDO「地域新エネルギービジョン策定等事業」の調査委託事業に採択

概要

シナネン株式会社（本社：東京都港区海岸 1-11-1、資本金：156 億円、社長：鈴木弘行）は「相模原水素ステーションを核とした水素エネルギー有効利用調査」を開始します。この調査は当社相模原営業所の LP ガススタンドに併設されている相模原水素ステーションから供給する水素を地域のエネルギーキャリアとして有効に利用する水素コミュニティを実現するための事業評価及び事業計画を策定するものです。なお、当調査事業は平成 18 年 7 月 5 日に独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）「地域新エネルギービジョン策定等事業」の事業化フェージビリティスタディ調査委託事業として採択されました。8 月 30 日には当調査の諮問機関である相模原水素コミュニティ推進委員会の第 1 回の会合が相模原市橋本「社のホールはしもと」で開催され、当調査がスタートしましたのでお知らせします。

調査概要

事業主体：シナネン株式会社

委員会：相模原水素コミュニティ推進委員会

（委員長：武蔵工業大学高木靖雄教授、神奈川県、相模原市、さがみはら産業創造センター、他地元企業）

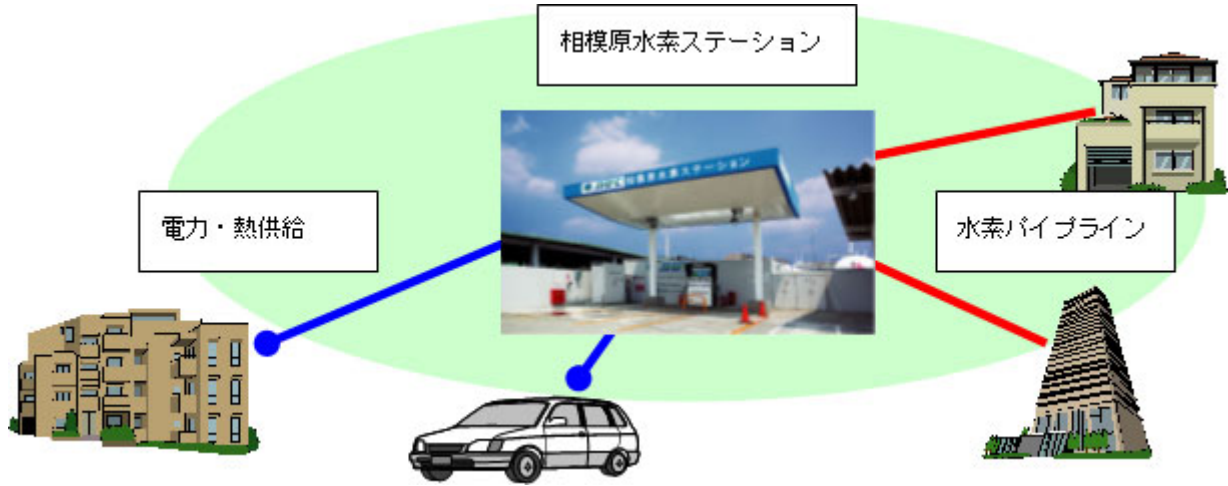
調査対象事業：

- 1、相模原市内を循環するメール便に燃料電池自動車を利用し、その水素を供給する
- 2、公共施設等に設置する定置用燃料電池への水素供給事業
- 3、水素ステーション内に設置する定置用燃料電池からの電/熱供給事業

参加の経緯

平成 16 年に当社は栗田工業(株)、伊藤忠エネクス(株)の 3 社共同で参画する「水素・燃料電池実証プロジェクト」として、当社相模原営業所に世界ではじめて LP ガススタンドに併設した水素ステーションを開設しました。当社はこのプロジェクトを通して燃料電池自動車への水素供給及びステーション運営のノウハウを蓄積してまいりました。今回の調査を通して「かながわ新エネルギービジョン」により新エネルギーの導入・普及を促進する神奈川県、当水素ステーションの所在地である相模原市ならびに相模原水素コミュニティ推進委員会の参加企業と協力し、環境負荷の少ない水素社会の構築を目指したいと考えております。

相模原水素ステーションを核とした水素コミュニティのイメージ



本件に関するお問合せ先
シナネン株式会社 広報 IR チーム
電話：03-5470-7104